

議会だより

平成31年
第1回定例会



さつまいも植え付け体験・四国大学附属認定こども園

主な内容

- 議長就任あいさつ／
松茂町議会委員会構成 2ページ
- 町政に対する一般質問 3ページ
- 東徳島医療センターと徳島病院の
充実・強化を求める意見書 6ページ
- 常任委員会委員長レポート 7ページ
- 予算特別委員会報告 9ページ
- 諸般の報告 9ページ
- 監査報告 10ページ
- 全員協議会報告 11ページ
- 編集後記 11ページ
- 松茂町議会議員紹介 12ページ

議長就任あいさつ



松茂町議会議長
佐藤 道昭

町民の皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また日頃は町議会に対し深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和元年五月七日の臨時会において議員各位から議長にご推挙いただき、身に余る光栄と同時に新しい時代の初めての議長ということで、一層身の引き締まる思いであります。

さて、我が国は人口減少、少子高齢社会に直面しており、それに伴い経済を支える労働人口も減少し、地方の衰退は目を見張るものがあります。松茂町においても少しづつではありますが、人口減少への傾向が見え始めております。本町ではそのような現状を考慮しながら「第五次松茂町総合計画」を定め防災対策、教育、福祉の充実を課題とし、町民の皆様の豊かな暮らしを目指して様々な施策を実施、推進しております。議会といたしましても町当局と連携し、あらゆる諸課題に積極的に取り組むとともに議会や議員としての姿勢の在り方について見直しや議論を進めて町民の皆様への付託に応えるよう議会改革を行ってまいります。今後とも引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。

松茂町議会委員会構成

令和元年5月7日現在

議員氏名	米田 利彦	村田 茂	川田 修	板東 絹代	立井 武雄	佐藤 道昭	佐藤 禎宏	森谷 靖	原田 幹夫	藤枝 善則	佐藤 富男	春藤 康雄
委員会等												
議長						●						
副議長					▲							
議会運営委員会			○	○					△	◎	○	○
総務常任委員会	○			△		○	○	○	○	○		◎
産業建設常任委員会		○	◎		○	○		△	○		○	○
教育民生常任委員会	○	○	○	○	○		△			○	◎	
広報常任委員会	○	○	○	◎	○		△	○	○			
徳島県後期高齢者医療広域連合議会					○							
松茂町ほか二町競艇事業組合							○	○		○		
板野東部消防組合									○			○
板野東部青少年育成センター組合			○	○							○	
監査委員												○
国民健康保険運営協議会	○										○	
都市計画審議会				○			○			○	○	
松茂町総合振興計画審議会		○				○		○				

●議長 ▲副議長 ◎委員長 △副委員長 ○委員

ここが知りたい!

町政に対する一般質問



議会会議録は
松茂町立図書館に
6月に配置します

本年最初の定例会が2月28日から3月15日にかけて開催されました。2日目に当たる3月4日には一般質問が行われました。

平成最後の議会となる今回は、我々の身近な問題に関する質疑応答が活発に行われました。

板東絹代 議員



1 教育問題

問

二〇二一年の滋賀県大津市に、いじめ防止対策推進法が成立するなど、現在、学校教育では、いじめや不登校は大きな問題となっている。程度の差はあれ、いじめや不登校はどの学校にもあり得ると認識し、早期発見に努め、解決に向け取り組みなければならぬ。

町では、いじめや不登校はあるのか。また、これらの問題が起きた場合、学校と教育委員会だけでなく、関係機関やPTAと連携するなど、開かれた学校運営を行い、解決に向けて動いているのですか。

いじめ・不登校の背景には、さまざまな要因が考えられる。これらさまざまな背景を持つ児童・生徒や保

家庭と地域が力を合わせ、心豊かな子どもを育てよう

No.65 平成31.2.28

ほめ言葉のシャワーで「生きる力」を育てよう
～子どもに繰り返し言いたい魔法の言葉～

うれしいよ! ありがとう 大好きだよ がんばってるね 上手になったね
いいね! だいじょうぶ! かしこいね おめでとう! やったね!
すごい! えらい!

青少年悩み事・心配事相談電話

青少年の皆さん、一人で悩まないで、すぐお電話ください。皆さんを守ります。秘密は守ります。

板野東部青少年育成センター Tel 699-3441	いのちの島望(電話) Tel 623-0444	徳島北警察署 Tel 698-0110
(スマイルテレホン) Tel 699-6611	徳島県立総合教育センター(特別支援・特別) Tel 672-5200	徳島地方法務局こども人權110番 Tel 622-8110
松茂町教育委員会 Tel 699-8719	徳島県中央こども女性センター Tel 622-2205	徳島地方法務局 Tel 622-4171

松茂町教育委員会・学校地域教育推進協議会

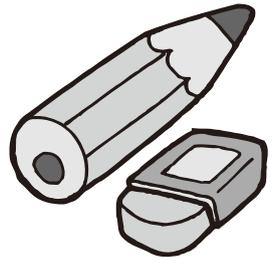
子育て啓発リーフレット

護者との信頼関係づくりに努め、いつでも相談できる窓口に学校や教師はなってもらいたい。また、家庭や学校だけではなく、地域社会にいる我々大人一人ひとりも、これら問題に対する役割・責任を自覚し、協力して問題解決に当たっていくのが重要だと思う。その啓発にも努めていただきたい。

答 子どもからのSOS を見逃さない

現在、町では、いじめは解消していると認識しています。今後も、いじめは人間として絶対に許されないと意識を児童・生徒に徹底し、学校も見守り支援を継続していきます。いじめを発見した場合、特定の教師で抱え込まず、校内組織を立ち上げ、対応するとともに、いじめの背景にも着目し、当該児童・生徒の安心安全に配慮しつつ、専門機関と連携して対応することになっていきます。

一方、不登校状態にある児童・生徒が現在もおり、その背景はとても複雑で、本人や保護者とかかわりつつ、個々の状況に応じた支援を継続しています。その一つとして、学校以外での学習を希望する児童・生徒向けに適応指導教室を設け、毎日の学習指導のほか、生活指導、集団適応指導、体力づくり



指導を行っていただきます。また来所や電話による相談、専門家との面談相談の機会を設け、登校に向けての支援を行ってまいります。

町独自の対応としては、「Q-Uテスト」と呼ばれるアンケートを年二回実施しています。これは児童・生徒の自己肯定感・疎外感を測る心理検査と学級満足度調査を合わせたもので、このアンケートを参考に必要な支援のための校内連携、また保護者との連携、外部機関との支援体制の構築・整備につなげていきます。

また、各学校のPTAや子育て関連団体と学校でつくる学校地域教育推進協議会にて、子育て啓発リーフレットを作成・配布するなど、地域の子どもは地域で育てる機運醸成にも努めています。

さらに今後は、いじめや不登校の解決に向け、子どもたち自身が主体的に取り組む組織を各校で立ち上げ、よりよい学校づくりに役立てたいと考えています。

教育委員会としては、「いじめや不登校は、どの学校でも起こり得る」との危機意識を持って、子どもからのS

OSを見逃さないようにアンテナを張り、学校をはじめ、町当局や関係機関とも連携し、これら問題の解決に取り組んでまいります。

川田 修 議員



1 まつしげまるしえについて

問

まつしげまるしえ（以下、「まるしえ」）は新町長が打ち出した新施策の一つで、昨年は二度、試行開催された。しかし、場所は町を中心から離れた町有地で、当初説明があった福祉施設、社会教育施設の集積した町民グラウンド周辺の開催はならなかった。町民グラウンド周辺の開催は今後どうなるのか。将来完成する旧吉野川沿いの水辺の交流施設でのイベントともコラボしたいとの説明もあったが、ならば、町民グラウンド周辺の開催を、もつと考えるべきではないかと

思う。

また徳島空港臨空用地に多目的に利用できる交流施設の整備を図る計画が立ち上がったと、業界専門紙での報道があった。そこでは、地元の松茂町の活性化につながる施設にして、町とも連携しながら、今後具体化を進めるとあった。実際、このような計画はあるのか。また空港の交流施設への町の関与の仕方は具体的にはどういふものか。設計段階から関わるのか、それとも施設建設を終えた後にかかわっていくのか。

さらに「まるしえ」の運営を実行委員会形式にして、町民ボランティアを主体とする運営方式を試行するという説明の一方、将来的には松茂町観光物産協会というものに形を変えていきたいとも説明された。この移行過程をどう考えているのか。また、説明のとおりなら、暫定的なものとなる実行委員会の位置づけと予算はどのように考えているか。

答

観光・物産の振興に 町一丸

今年度は、議員ご指摘のとおり、必ずしも条件のよい場所ではないところで二度の「まるしえ」開催となりましたが、それでも多くの皆様に参加いただきました。平成三十一年度には、場



親水施設整備との連携も考えていきます。

新たにできる空港の交流施設への町の関与の仕方ですが、これは施設整備後に、同施設をいかに活用して町の活性化を図るかについて事業主体と町とで話し合っていく予定です。したがって、現在のところ、この施設の活用方法は、まさにこれからの話という状態です。

所を旧空港ターミナル駐車場、県運転免許センター北側で開催することになりました。また開催回数も拡大したいと考えています。将来、町民グラウンド周辺で新交流拠点施設が完成したら、そちらでマルシェを開催したいと考えています。

また、旧吉野川改修事業にあわせた

三十一年度は、この経験を生かして、町民ボランティア主体の実行委員会により、開催いたします。位置づけとしては官民協働事業となり、町のチャレンジ課が事務局となつて、同委員会を支援するとともに、予算も補助金という形で計上いたします。

その一方で、町の観光・物産の振興

に町一丸となつて取り組むため、議員ご指摘の松茂町観光物産協会を平成三十一年度中に立ち上げます。最終的には「まるしえ」も、この中に位置づけたいと考えているところです。

2 いも三味の販売について

問

現在、まつしげまるしえ実行委員会が、いも三味を町の特産品として売り出しているが、これには多くの批判が私のところに寄せられている。つまり、町の特産である松茂美人はなると金時であり、紅はるか、わずかだが町でも作付けされているからまだいいが、安納芋は全く作付けされていない。それを町がかかわって、町の特産品として売り出すのは理解できないということだ。

もちろん、いも三味を売り出すにあたっては、町の農業の厳しい実態や課題があつて、それを何とか打開したいという熱い思いがあつてのことだと思うが、その辺が町民の皆様、特にサツマイモ農家の皆様に十分に伝わっていないのではないかと思う。この場で説明いただくとともに、今後、町の思いが伝わるように周知

答

農業を守り育てる

に取り組んでいただきたい。そして、以下は全くの私見で、回答は不要だが、特産品三種をセットにして売るといふなら、松茂美人、浜葱、蓮根という三種をセットに売り出してはどうかと思う。機会があれば検討いただきたい。

現在、松茂美人をはじめとするなると金時の販売不振が続いていて、JA大津松茂での販売額はピーク時から二五%減となっています。これは、なると金時を含む高系十四号の作付面積の減少、紅はるかや安納芋、シルクスイトといった高糖度品種の作付面積の増加、またサツマイモ全体でも、この高糖度品種を中心とした作付面積の大幅増に伴う供給量増加による価格の低迷があります。さらに消費者の嗜好も高糖度品種へと変わってきたことも挙げられます。

このような状況の中、町のサツマイモ農家も高齢化の進展とともに、自営栽培から、農地を人に貸すところが増えています。小規模農家では今後、経営が困難な状況になりつつあり、耕作放棄地が出現する懸念があります。市場の変化に対応して町の農業の課題を打開するため、二年前にJA大津



松茂と農家代表者とが協議する場を設けましたが、結論に至りませんでした。町としては、やはりサツマイモの王道はなると金時だと考えていますが、消費者の嗜好に合わせて、新たな品種を試みることも必要かとも思います。これにより、農家の収入増や耕作の継続も期待できますし、全く別の作物への転換よりも低リスクで済みます。この転換を進めるための一つの施策が、いも三昧です。また安納芋も町の試験

圃場で栽培しています。

さらに農業の活性化のため、体験型農業も模索していきたくと考えています。体験型農業では、作付けから栽培までは農家が行い、収穫は消費者にしていたいただきます。つまり、収穫以降の農作業が農家には不要となり、その分できた余裕の時間を裏手に活用するなど、農家の収入の安定や増加に資すると期待しています。本年度、この採算性などを見る実証実験を考えています。

このように町としては、町の農業を守り育てるために今後も取り組みますので、ご理解のほど、よろしくお願ひいたします。



東徳島医療センターと徳島病院の充実・強化を求める意見書

独立行政法人国立病院機構は、平成30年2月に「東徳島医療センター及び徳島病院の機能統合に伴う新病院に関する基本構想について」を公表しました。東徳島医療センターは入院病床276床を運営され、結核の拠点病院であるとともに重症心身障がいの専門医療施設であり、さらに包括ケア病床60床を含めた一般医療を担ってこられました。徳島病院は入院病床300床を運営され、四国で唯一の筋ジストロフィー医療施設であり、神経・筋疾患難病の基幹施設であると同時に徳島県難病医療ネットワーク事業における拠点施設として難病医療の支援体制を担い、先駆的な研究や実践を行ってこられました。「基本構想」は実質的な徳島病院の廃止であり、現在徳島病院に入院されている患者の病床確保は不透明なままです。また、それにより現在の東徳島医療センターが有する一般医療の機能縮小も危惧されています。

両病院は、重症心身障がいや結核、神経・筋疾患難病に対する医療におけるセーフティーネットとして、県内だけでなく県外からも広く利用されており、こうした機能を担う専門的な医療機関があることは、患者・家族はもとより本町にとりましても、住民が生活するうえで安心・安全につながっています。同時に、一般医療においても本町の地域医療として大いに期待するところであり、機能の充実・強化が強く求められています。

つきましては、東徳島医療センター及び徳島病院がそれぞれの地で病院機能の充実・強化を図っていただけますよう、強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成31年3月15日
徳島県松茂町議会

提出先 厚生労働大臣
独立行政法人国立病院機構理事長

意見書について

東徳島医療センターと徳島病院の充実・強化を求める意見書について協議の結果、意見書を提出することになりました。

この意見書は、徳島病院の機能を東徳島医療センターに移転・統合することに伴い、病床数の削減、一般医療機能の縮小などで地域医療の充実、健全な病院運営ができなくなるため、現在の両病院を維持し、充実・強化を図っていくというものです。

平成31年3月15日

第1回定例会

常任委員会

委員長レポート

第1回定例会の議決の結果、議案第1号～50号の50件については、原案どおり可決しております。

総務常任委員会付託議案

議案第1号	松茂町地方版総合戦略審議会条例
議案第2号	松茂町総合振興計画審議会条例の一部を改正する条例
議案第3号	松茂町議会議員の期末手当支給条例の一部を改正する条例
議案第4号	松茂町職員定数条例の一部を改正する条例
議案第5号	松茂町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
議案第6号	松茂町使用料条例の一部を改正する条例
議案第7号	松茂町各種委員会委員等の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例
議案第8号	臨海型廃棄物最終処分場対策基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例
議案第37号	平成30年度松茂町一般会計補正予算(第5号)(所管分)

A 委員20名中、4名です。

Q 松茂町地方版総合戦略審議会の委員で女性は何名いますか。

主な質疑事項

決いたしました。付託された議案9件は、原案のとおり可決いたしました。

総務常任委員会
総務常任委員長 板東 絹代

産業建設常任委員会付託議案

議案第30号	松茂町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例
議案第31号	松茂町公共下水道条例の一部を改正する条例
議案第32号	松茂町地域下水道設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第33号	松茂町給水条例の一部を改正する条例
議案第34号	松茂町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例
議案第35号	町道路線の認定について
議案第36号	町道路線の変更について
議案第37号	平成30年度松茂町一般会計補正予算(第5号)(所管分)
議案第41号	平成30年度松茂町農業集落排水特別会計補正予算(第2号)
議案第42号	平成30年度松茂町公共下水道特別会計補正予算(第4号)
議案第47号	平成31年度松茂町長原渡船運行特別会計予算
議案第48号	平成31年度松茂町農業集落排水特別会計予算
議案第49号	平成31年度松茂町公共下水道特別会計予算
議案第50号	平成31年度松茂町水道特別会計予算

A 補助金の関係で国との協議により1年から2年遅れております。

Q 松茂町水道施設耐震化計画からすると工事実施が遅れているのではないですか。

主な質疑事項

決いたしました。付託された議案14件は、原案のとおり可決いたしました。

産業建設常任委員会
産業建設常任委員長 立井 武雄



水道管布設工事

付託された議案28件は、原案のとおり可決いたしました。

主な質疑事項

Q 平成31年度松茂町国民健康保険特別会計で歳入の県支出金が大幅なマイナスですが、どのような理由ですか。

A 町の保険給付費と、国から県への交付金が減ったことによるものです。



教育民生常任委員会付託議案

議案第9号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
議案第10号	松茂町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
議案第11号	松茂町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例
議案第12号	松茂町児童館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第13号	松茂町児童館に係る指定管理者の指定事項の変更について
議案第14号	松茂町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する事項を定める条例の一部を改正する条例
議案第15号	松茂町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
議案第16号	松茂町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
議案第17号	松茂町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
議案第18号	松茂町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
議案第19号	松茂町老人福祉センター「松鶴苑」の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第20号	松茂町学習等供用施設設置及び管理条例の一部を改正する条例
議案第21号	松茂町保健相談センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第22号	松茂町学校施設の開放に関する条例
議案第23号	松茂町体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第24号	松茂町公園及び緑地の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第25号	松茂町サッカー場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第26号	松茂町夜間照明施設設置及び管理条例の一部を改正する条例
議案第27号	松茂町コミュニティ供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第28号	松茂町公民館設置条例の一部を改正する条例
議案第29号	松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第37号	平成30年度松茂町一般会計補正予算（第5号）（所管分）
議案第38号	平成30年度松茂町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
議案第39号	平成30年度松茂町介護保険特別会計補正予算（第3号）
議案第40号	平成30年度松茂町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
議案第44号	平成31年度松茂町国民健康保険特別会計予算
議案第45号	平成31年度松茂町介護保険特別会計予算
議案第46号	平成31年度松茂町後期高齢者医療特別会計予算

予算特別委員会報告

予算特別委員長 春藤 康雄

付託されました議案第43号「平成31年度松茂町一般会計予算」は原案どおり可決いたしました。

この審議の中で、主なものについて報告いたします。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ61億8千800万円と定めるものです。前年度対比5・8%増、3億4千万円の増額であります。これは歳出で、津波災害時に伴う「役場立体駐車場整備事業」に3億784万5千円、地方創生の取組に伴う「新交流拠点施設基本設計等委託事業」に6千300万円、放課後児童の健全な育成を図るための「松茂児童クラブ施設増築事業」に8千537万円の計上などが増額の主な要因でございます。

地方自治法第214条の規定により債務を負担する行為として、「松茂町放課後児童クラブ及びふれあい館管理運営委託料」、期間は平成32年度、限度額5千517万5千円、「体育施設指定管理料」、期間は平成32年度から平成35年度まで、限度額2億8千600万円の2件となります。

地方自治法第230条第1項の規定により、平成31年度は、緊急防災・減災事業債、1千400万円など他3件で、合計5億8千400万円を起債いたします。

地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入の最高額は、3億円と定めるものです。

まず、歳入については、自主財源の要である町税について、町民税の個人が増額、法人は減額を見込んでおりますが、固定資産税は増額を見込み、町税全体で、前年より増額の計上となり、歳入における自主財源は、57・0%を占めています。

歳出については、引き続き徹底した経常的経費の節減と人事管理の適正化に取り組んだ予算編成となっております。

主要な新規事業については、新交流拠点施設基本設計等委託事業、津波避難タワー実施設計委託事業、松茂児童クラブ施設増築事業、体育施設指定管理料などがございます。

予算特別委員会では、次のような質疑がございました。



総務常任委員会所管分主な質疑

Q 津波避難タワー建設の今後について場所など、どのような計画ですか。

A 平成31年度に長原地区の設計、平成32年度に同地区に建設いたします。

Q ふるさと納税の平成30年度の件数、金額はいくらぐらいですか。

A 2月末現在、357件で1千60万円です。

産業建設常任委員会所管分主な質疑

Q 県営地盤沈下対策事業負担金で、事業の進捗状況はどのようなようになっておりますか。

A 現在、幹線水路工事について、国道11号線沿い東側を計画しており、旧吉野川の横断もあることから、まだ当面かかります。

教育民生常任委員会所管分主な質疑

Q 教育施設長寿命化計画策定は平成31年度で完成するのですか。

A 平成31年度中に完成します。

Q 児童クラブバス運行委託で、時間、ルートなど、どのような計画ですか。

A 授業終了後4時から運行し、2往復の運行としております。

諸般の報告

松茂町ほか二町競艇事業組合

鳴門市と共催の競艇事業は年間で24日開催され、収益金は、町の財源になっています。

平成28年4月のリニューアルオープン以降は、売り上げ向上のための各種施策を行い、安定的な経営が行われております。その結果、広域発売である電話投票等の売り上げが好調であることから、直近、平成29年度の総売上高は、約337億円となっております。平成30年度からは、上半期に「薄暮レース」、下半期に「モーニングレース」を開催し、更なる売り上げ向上に努めております。

今後も、ボートレースのさらなる魅力アップと、新たなファン獲得への取り組みを進め、環境の整備やサービス



内容の充実等を図っていくように、管理者共々努力します。

板野東部消防組合

平成31年度の当初予算額は11億8、449万6千円であり、そのうち松茂町の負担金総額は2億5、869万円になっています。平成30年度の主な事業のうち、主要装備の更新事業として、C D ー1型ポンプ自動車を購入、平成31年3月には、総務省消防庁から無償貸与により水陸両用車の機能を備えた全地形対応車II型という西日本で1台しかない車輛が配備されます。

今後は、徳島県及び県内消防と連携を図りながら、適切に運用してまいります。

板野東部青少年育成センター組合

青少年の補導活動並びに健全な育成指導を行うことを目的として、街頭補導活動、不審者対応、健全育成活動、有害環境浄化活動、広報啓発活動などの業務を実施しています。

そのほか、平成28年6月に発足した「松茂・北島子ども若者支援地域協議会」は3年目を迎え、育成支援講習会や実務者会議を適宜開催し、課題解決に向けて取り組んでいます。

徳島県後期高齢者医療広域連合

広域連合では保険料の決定、医療給付等を行い、各種届出の受付、窓口業務、保険料の徴収等は市町村で行っています。

2月の定例会において、平成31年度一般会計予算・特別会計予算・徳島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正などについて決定しました。条例の一部改正については、保険料軽減特例の見直しの実施及び被保険者均等割保険料の軽減対象の拡充を行うための改正です。

監査報告

監査委員 日根啓一・佐藤富男

1、定例監査

監査の結果、各課等の予算に係る財務に関する事務は適正に執行されているものと認められます。

また、その他の事務事業管理についても適正に執行されているものと認められます。なお、監査の結果と所見については次のとおりです。

2、監査の結果

(1) 予算の執行については、概ね良好に進んでいることを認めます。歳入予算においては、国費、県費の各事業補助金等は、年度末の交付となっているものが多いので、それらに対応する予算（歳出）が多額になり、資金繰りが困難になることも考慮し、十分注意して執行してください。

また、町税及び国民健康保険税の収納確保については、平成30年7月徴収事務につき豊富な知識と経験をもつ元税務署職員を雇い、滞納整理を実施し、収納努力をされていることが評価できます。

歳出予算においては、国や県の補助事業を最大限活用し、さらに徹底した経費の節減に取り組んでください。

また、事務事業の実施については、常に計画性とコスト意識をもって、高い住民サービスが提供できることを望みます。

(2) 平成30年4月1日、町政を運営するうえで重要な政策の企画及び地元の見解など総合調整を主な目的に設けられたチャレンジ課、「安全で安心な住み良いまちづくり」の実現に向け、今までの枠にとらわれず、機動的に取り組んで行くことを期待します。

全員協議会報告

平成31年2月28日に議員全員、町長はじめ担当課職員出席のもと、町づくりに関わる重要事項について協議いたしましたので主な内容を報告します。

地方創生の取組について

地方創生の目的は、松茂町の地域性を最大限に活用し、町民主体のまちづくりへの取組により継続的な地域活性化を実現するため、「松茂町まちづくり基本計画」を策定し、まちづくり会議

を開催するなど検討しました。今後は、新交流拠点施設の整備、観光物産協会（仮称）の組織設立など、地方創生の実現に向けて取り組んでいきます。

役場立体駐車場について

地震による津波や河川氾濫による浸水があった場合に、役場公用車等を水没させないようにし、復興の際の役場業務に支障が生じないように、復興業務にあたるよう3層の駐車場を整備します。今年度7月に工事着手し、今年度中に完成する予定です。



完成イメージ図

学校・幼稚園における夏季休業日の短縮について

子どもたちが新しい時代を生き抜く力を育てるために授業時数の増加が求められており、松茂町では平成26年度から土曜授業を導入してきました。しかし子どもたちの中で部活動、学校外での活動により出席できないなどの課題が残されたことから、平成31年度から土曜授業を廃止し、夏期休業日を8月26日までと短縮し、平日授業日を増加することになります。

今後も、授業時数の確保のため、授業の在り方、学校行事の見直しを進めていきます。

松茂町議会傍聴規則について

傍聴者の個人情報保護の観点から、現行の傍聴人受付簿から受付票に改めます。傍聴者が住所、氏名、年齢を記入する受付票を受付箱に投函する仕組みにし、議会事務局において傍聴者の個人情報を管理します。

自治功労者・町村議会表彰式

3月1日、徳島グランヴィリオホテルにおいて、「自治功労者・町村議会表彰式」が開催され、本町から佐藤富

男議員、佐藤禎宏議員が表彰されました。

佐藤富男議員は、町議会議員として15年以上在職し功労のあった者として、全国町村議会議長会会長から、また佐藤禎宏議員は、町議会議員として11年以上在職のあった者として、徳島県町村議会議長会会長からそれぞれ表彰状が授与されました。



佐藤富男議員



佐藤禎宏議員

編集後記

緑がさわやかに映る、心地好季節です。

議会改選後、新体制での広報常任委員会を開催しました。今まで以上に、町民の皆様には町議会を身近に感じていただけるよう、読みやすい誌面作りに努めてまいります。多くの方が「議会だより」に関心をもって、親しんでいただけますよう、お願い申し上げます。

◆ 広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 板東 絹代 |
| 副委員長 | 佐藤 禎宏 |
| 委員 | 原田 幹夫 |
| 委員 | 森谷 靖 |
| 委員 | 立井 武雄 |
| 委員 | 川田 修 |
| 委員 | 村田 利彦 |
| 委員 | 米田 利彦 |

松茂町議会新体制決まる！

4月21日の松茂町議会議員一般選挙後、5月7日の初議会（第1回臨時会）において、松茂町議会の新体制が決まりましたのでお知らせします。

令和元年5月7日現在



議長 さとう みちあき
佐藤 道昭
61歳（笹木野）無所属
当選回数 4回



副議長 たてい たけお
立井 武雄
66歳（中喜来）無所属
当選回数 3回



しゅんどう やすお
春藤 康雄
87歳（広島）無所属
当選回数 10回



さとう とみお
佐藤 富男
75歳（広島）無所属
当選回数 5回



ふじえだ よしのり
藤枝 善則
73歳（中喜来）無所属
当選回数 5回



はらだ みきお
原田 幹夫
65歳（長原）無所属
当選回数 5回



もりたに やすし
森谷 靖
59歳（笹木野）無所属
当選回数 5回



さとう さだひろ
佐藤 禎宏
77歳（広島）無所属
当選回数 4回



ばんどう きぬよ
板東 絹代
68歳（長原）無所属
当選回数 2回



かわだ おさむ
川田 修
67歳（笹木野）無所属
当選回数 2回



むらた しげる
村田 茂
64歳（中喜来）無所属
当選回数 1回



よねだ としひこ
米田 利彦
63歳（広島）無所属
当選回数 1回